



千葉県議会議員(千葉市中央区)

はじめ
あみなか 肇

少子高齢化問題特集(9月)号

プロフィール…

1972年千葉県銚子市生まれ 38歳

学歴

慶應義塾大学法学部政治学科卒業
政策研究大学院大学政策研究科修了

職歴

千葉市職員・総務省事務官

現在

県議会総合企画水道常任委員会委員



政務調査
レポート

明日の県政を変える!

〒260-0805 千葉市中央区宮崎町663-2-604

<http://aminaka-hajime.net>

県内65歳以上人口、平成47年までに55万人以上増加!

千葉県においても他の都道府県と同様に、かなり以前から少子高齢化が指摘されてきました。県や県内自治体の総合計画等も当然それを踏まえた上で策定されており、実際の事業でも少子高齢化社会への対応を念頭にいた対応が実施されているものと思われます。

しかし、国としての少子高齢化対策についてはニュース等で見聞きするものの、身近な問題としてはあまり捉えられていないというのが現状ではないでしょうか。

今回の調査レポートでは、主として千葉県を取り上げ、国、千葉市の状況等も視野に入れつつ、千葉県の少子高齢化の現在・将来の状況について改めて確認し、今後の政策のあり方を考えていくこととします。

また、少子高齢化に対応した個別事業について言及するのは次号以降に譲り、今回は千葉県の少子高齢化の状況についてみていくこととします。

● 県の人口の現状

過日、平成22年国勢調査抽出速報集計結果が公表されました。それによると平成22年10月1日現在の日本の人口は1億2805万6千人となっており、平成17年～22年で28万8千人の増加となっています(図表1)。

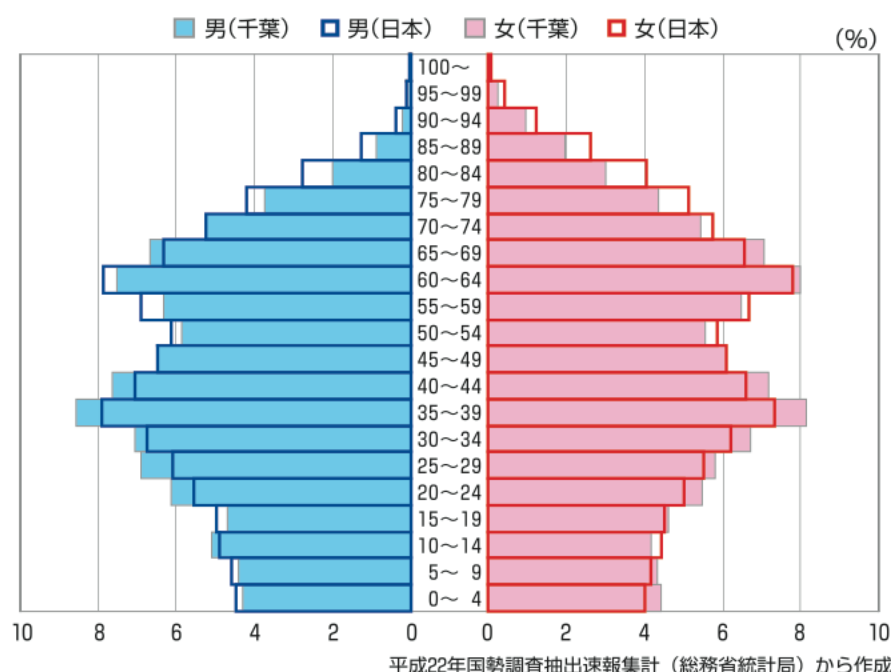
千葉県は全国で6番目に人口が多い県となっており、621万7千人となっています。平成17年～22年で、16万1千人の人口増加となっています。千葉県を含む9都府県で人口が増加し、38の道府県では人口が減少しています。

図表1 H22年及びH17年国勢調査都道府県別人口

	都道府県	平成22年	平成17年	増減数	増減率(%)
1	東京都	13,161,751	12,576,611	585,140	4.7
2	神奈川県	9,049,500	8,791,587	257,913	2.9
3	大阪府	8,862,896	8,817,166	45,730	0.5
4	愛知県	7,408,499	7,254,704	153,795	2.1
5	埼玉県	7,194,957	7,054,382	140,575	2.0
6	千葉県	6,217,119	6,056,462	160,657	2.7
7	兵庫県	5,589,177	5,590,601	-1,424	-0.0
8	北海道	5,507,456	5,627,737	-120,281	-2.1
9	福岡県	5,072,804	5,049,908	22,896	0.5
10	静岡県	3,765,044	3,792,377	-27,333	-0.7
38	秋田県	1,085,878	1,145,501	-59,623	-5.2
39	和歌山県	1,001,261	1,035,969	-34,708	-3.4
40	香川県	995,779	1,012,400	-16,621	-1.6
-	(千葉市)	(962,130)	(924,319)	(37,811)	(4.1)
41	山梨県	862,772	884,515	-21,743	-2.5
42	佐賀県	849,709	866,369	-16,660	-1.9
43	福井県	806,470	821,592	-15,122	-1.8
44	徳島県	785,873	809,950	-24,077	-3.0
45	高知県	764,596	796,292	-31,696	-4.0
46	島根県	716,354	742,223	-25,869	-3.5
47	鳥取県	588,418	607,012	-18,594	-3.1
	国	128,056,026	127,767,994	288,032	0.2

H22国勢調査人口速報集計結果(総務省統計局)から作成

図表2 国と県の人口構成割合ピラミッド(年齢区分別割合)

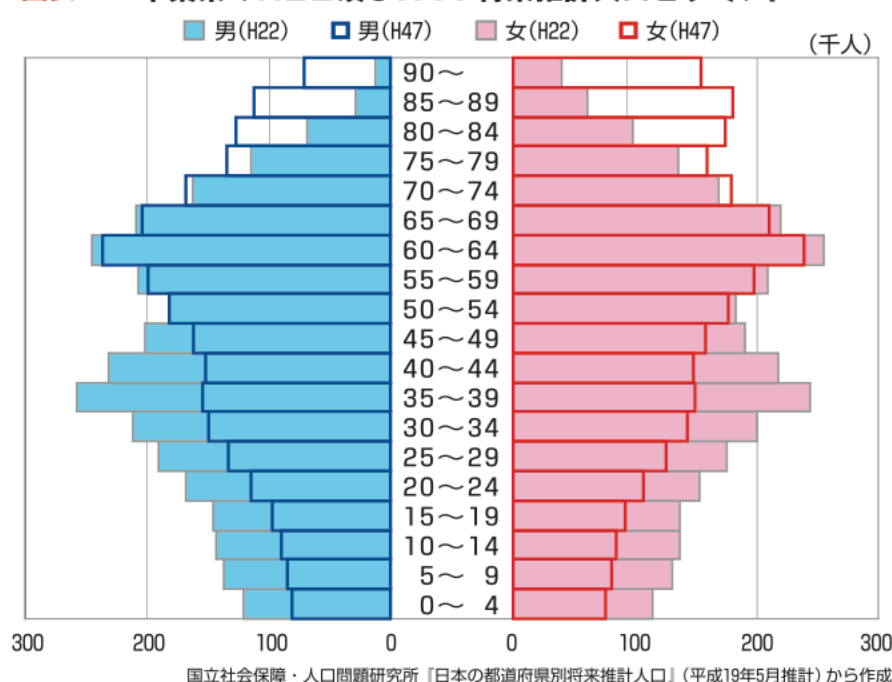


図表2は、国と千葉県における男女別・年齢別(5歳階級)の人口構成割合の状況を重ねて見たものです。全体としては千葉県も国の状況と同様、団塊の世代及び団塊の世代ジュニアの層で2つの山を作っています。

その一方、県は国と比較して、70歳以降の方が全体に占める割合が低く、45歳より若い方が占める割合が高いことがわかります。そのため、千葉県民の平均年齢は43.6歳と、全国平均の44.9歳よりも低くなっています。

● 県の将来推計人口

図表3 千葉県のH22及びH47将来推計人口ピラミッド



国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口」(平成19年5月推計)から作成

図表3は県の平成22年及び平成47年将来推計人口をみたものです。平成47年には男女とも概ね人口の山がひとつになるものと考えられています。これは同表の人口ピラミッド上、団塊の世代の方が5区分上方にシフトし、現在よりもその世代の人口が減少する一方、団塊の世代ジュニアの方が同様に5区分上方にシフトし大きな山を構成するものとされているためです。

また、老年人口といわれる65歳以上の方の人口が増加し、生産年齢人口といわれる15～64歳の方及び年少人口といわれる14歳以下の方が減少することが分かります。特に、75歳以上の方が増加することがわかります。

具体的な数でいえば、今後約25年間で年少人口(0～14歳)が28万7千人の減少、生産年齢人口(15～64歳)が88万2千人減少するものとされています。その一方、老年人口(65歳～)が55万9千人の増加となることが推計されています(図表4)。

つまり、今後25年間で、県内人口が全体として約610万人から60万人減少し、内訳としては千葉市(人口約96万人)に匹敵する生産年齢人口が県内で減少し、船橋市(人口約60万人)に匹敵する老年人口が県内で増加するということとなります。

このように、年少人口・生産年齢人口は減少する一方、老年者人口は増加することから、老年人口割合が急激に高くなることが推測されます。以下では65歳以上人口についてみていくこととします。

図表4

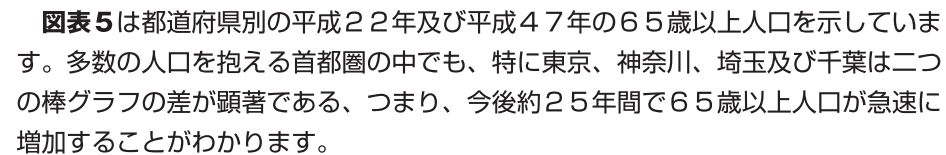
3区分別千葉県のH22及びH47将来推計人口及び構成割合

	平成22年	平成47年	人口差
区分	人口(割合)	人口(割合)	人口差
0～14歳	785 12.9%	498 9.1%	-287
15～64歳	4,002 65.5%	3,120 56.8%	-882
65歳以上	1,320 21.6%	1,880 34.2%	559
計	6,108 100.0%	5,498 100.0%	-610

国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口」(平成19年5月推計)から作成

图表 5

(千人)

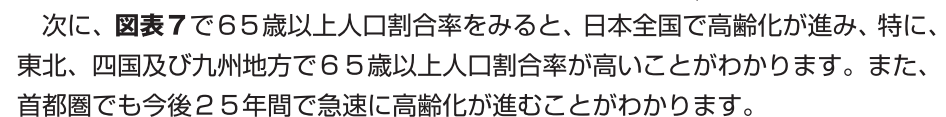


また、65歳以上人口増加率をみても増加率の高い地域が首都圏に集中していることがわかります。

また、65歳以上人口増加率をみても増加率の高い地域が首都圏に集中していることがわかります。

图表 7

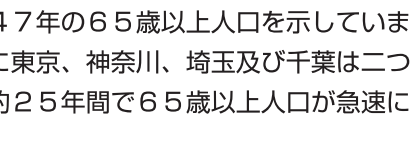
都道府県別65歳以上人口割合
(H22、H32、H47)

**图表 8**

H22及びH47
県内市町村別将来推計65歳以上人口(県内上位15団体)



図表 6



图表 10

0



図表8は県内の市町村（上位15団体）別の平成22年及び平成47年の65歳以上人口を示しています。多数の人口を抱える県の中でも、特に千葉市、船橋市、戸田市及び市川市等では二つの棒グラフの差が顕著である、つまり、今後約25年間で65歳以上人口が急速に増加することが分かります。**図表9**は65歳以上人口の増加率を示しています。都市部での増加率が高いことが分かります。

県内の市町村の65歳以上人口割合を示したのが**図表10**です。県内でも全域で高齢化が進むことがわかりますが、山武・長生・夷隅・香取・海匠・君津・安房地域において高齢化が顕著です。県内の高齢者への適切な政策的対応が強く求められています。

图表 1

■ 男(H22) ■ 男(H47) ■ 女(H22) ■ 女(H47)



千葉市における人口動向も、概ね県と同様と考えられます。しかし、むしろ千葉市では65歳以上人口の増加率と生産年齢人口及び年少人口の減少率が県を上回って進展することがみてとれます。

千葉市においても、少子高齢化や生産年齢人口の減少などへの適切な対応を図っていかなくてはなりません。

千葉県

千葉県も他自治体と同様、今後の急速な少子高齢化、生産年齢人口の激減に直面しており、その例外ではありません。千葉県は人口が増えてはいますが、高度経済成長期のように、年少人口や生産年齢人口が増えるのではなく、むしろこれらの人口は減少し、その減少を上回って、65歳以上人口が増えるというのが今後しばらくの県の姿です。

また、生産年齢人口が大幅に減少することから、個人所得の減少、個人消費の減少、税収の減少などが考えられます。一方、65歳以上人口が増加することから福祉・介護・医療費の増大などが不可避であると考えられます。

私たちは、千葉県が担っている諸分野において、将来世代にツケをまわすことなく、少子高齢化、生産年齢人口の激減に対する適切な対応を図り、安心して暮らすことができる千葉県を作っていくなくてはなりません。

◆県政に対する皆さまのご意見をお寄せ下さい。

10 (1) 二階常微分方程式の解法

① **9月10日(土)** 千葉県労働者福祉センター 403会議室
(千葉市中央区千葉港4-4)

② **9月11日(日)** 蘇我勤労市民プラザ 第7講習室
(千葉市中央区今井1-14-43)

開催時間：両日ともに15:00～16:00

定員：20名
会費：無料